

町会・自治会 活動事例集



～本誌を作成した目的～

各町会・自治会の皆様が日頃より取り組んでいる様々な活動について、事例をまとめました。イベントへの参加を促進する取り組みや、他団体と連携した事業、デジタル活用などをご紹介します。

今後の町会・自治会活動の参考やヒントにしていただければ幸いです。

目次

イベント実施

- さつま芋ほり体験ツアー(北品川一丁目町会) 1-1
- 北二町会盆踊り大会(北品川二丁目町会) 1-2
- 納涼祭(洺崎町会) 1-3
- 餅つき大会(櫻心会町会) 1-4
- ファミリーレクリエーション活動(小関親睦会) 1-5
- 尚和会こども花火大会(品川尚和会) 1-6
- 二葉三丁目町会総合防災訓練(二葉三丁目町会)..... 1-7
- 光と音で贈るクリスマスイベント(潮路東ハイツ自治会) 1-8

他団体との連携・協働

- マンション合同防災訓練(ハツ山町会) 1-9
- しながわ花海道(大井第一地区管内各町会・自治会) 1-10
- 盆踊-BONDO-(大井一丁目権現町会) 1-11
- 戸越の賑わい創出と連携強化(戸越一丁目町会、戸越二丁目町会、戸越三丁目町会、戸越四丁目町会、戸越五丁目町会、戸越銀座町会) 1-12
- サンサンフェスタ(旗の台三丁目町会、西中延三丁目町会) ... 1-13

デジタル活用

- デジタルとアナログの両立(同友会町会) 1-14
- LINE公式アカウントの開始(五反田中部町会) 1-15
- 町会公式LINEで子育て世代へ周知(荏原二丁目町会) 1-16

活動参加促進

- 親子で学ぼう防災講座(旗の台西二丁目町会)..... 1-17

その他

- 北二町会リサイクル(北品川二丁目町会) 1-18
- 町会内「見守り活動」(西大井二丁目町会) 1-19

品川区町会自治会連合会HPはこちらから →



北品川一丁目町会

旧東海道沿いに位置し、下町人情と宿場気質の残る町会です。老若男女が楽しめるイベントを開始し、近隣との交流を大切に、防犯・防火活動も充実しています。

旧東海道を訪れる人が気持ちよく街歩きができるように、毎月、清掃活動を行っています。



加入世帯数	約800世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線「北品川」駅		
ホームページ SNS等	—		

イベント実施のためのアイデア!

さつまいもほり 体験ツアー

茨城町との交流を兼ねたさつまいも掘り体験を町会員向けに定期的に開催。

収穫体験は、子どもたちだけでなく、大人でも笑顔があふれます。収穫後は、焼き芋の試食を用意してくれるなど、茨城町の方々との交流を楽しみます。

経緯

都会では味わえない収穫の喜びを体験して欲しい。農家の方々と触れ合って欲しい。という思いから、町会長が長年交流のある茨城町の協力を得て開始しました。

事前に準備したこと

- ・茨城町との調整
- ・バスの手配、ツアー調整
- ・参加募集の掲示物作成

効果

- ・町会の活動を知ってもらえる
- ・収穫の体験時に、たくさんの笑顔が見られる

呼びかけの方法

町会掲示板への掲示



活動のポイント

役員の方が積極的に協力してくれ、毎回盛況の活動です。

準備は大変なこともあります。新しい住民の方々と触れ合うこともでき、収穫体験にでる笑顔は、茨城町の方々の嬉しそうな表情が印象的です。

北品川二丁目町会

旧東海道品川宿の本宿にある町会です。品川宿の伝統と文化を保持しながら新しい試みを取り入れ、品川神社祭礼の神輿・山車の渡御、宿場まつりの花魁道中、北二大山講の大山参り、夏の盆踊りなどの風物詩、ラジオ体操、リサイクル活動などさまざまな活動をしています。



加入世帯数	約1,510世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線「新馬場」駅		
ホームページ SNS等	—		

イベント実施のためのアイデア！

北二町会 盆踊り大会

夏の風物詩として、8月の土日の二日間、聖蹟公園で盆踊り大会を開催しています。町会で保有している2段櫓(やぐら)を中心に、商店街の協力店が模擬店を出店し、毎年大勢の方々が賑わっています。

経緯

以前は、商店街を通行止めにして毎年場所を変えて行っていましたが、平成10年現会長就任時に、聖蹟公園での実施に変更。以降、毎年実施し、夏の風物詩となっています。

事前に準備したこと

- ・やぐら設置・電気配線、テント・机のレンタルなど各種事業者との調整
- ・飲料物の調達、・商店街協力店との調整等

効果

町会のまとまりが強化し、より活動が活発になりました。

呼びかけの方法

- ・町会員宅へのチラシ配布、町会掲示板への掲示
- ・会場に看板を設置し開催日のお知らせ



活動のポイント

一町会が行う規模の盆踊りとしては、異例ともいえるであろうやぐらや賑わい。北品川二丁目町会のみでなく、品川第一地区の夏の風物詩と言えるイベントになっています。

洩崎町会

洩崎町会は古くから獵師町で栄え、目黒川の入口で「のり漁」が盛んな町会でした。今は、集合住宅が増加し古くからの寄木神社周辺には新たな住人が増加してきています。



加入世帯数	約 8 1 0 世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線「新馬場」駅		
ホームページ SNS等	—		

イベント実施のためのアイデア！

納涼祭

8月第1日曜日に毎年開催している納涼祭。会場となる洩崎町会にやぐらや提灯で飾り付け、焼きそば、フランクフルト、かき氷、輪投げなどなど町会役員や近隣の福栄会が屋台をだして盛り上げます。日が暮れ始めると、太鼓の音楽に合わせて、大人から子どもまで幅広い年代が輪になって盆踊りを踊ります。

経緯

荏原神社天王祭が古くから6月に海で神輿を担ぐ海中渡御が行われていました。その後、町会が出来てから広場でお花見や盆踊り（納涼祭）などが開催されるようになりました。実施し始めた時期は定かではありませんが、長く続いている町会の恒例行事です。

事前に準備したこと

- ・やぐら、提灯、テントの設置
- ・飲食料の調達
- ・周知用チラシの作成

効果

- ・町会員同士のふれあいや交流の場になっている
- ・福栄会との交流ができる
- ・イベントを開催することで、町会に興味を持ってくれる人がいる

呼びかけの方法

- ・チラシの配布
- ・町会掲示板へのポスター掲示



活動のポイント

洩崎町会では、お花見・お祭り・納涼祭を主とし1年を通して様々な活動をしています。その活動をとおして、新たな住民の方との交流や新規町会加入に繋げていくよう試みしています。

櫻心会町会

南品川一丁目を中心に、北品川二丁目の一部を範囲とし、法人・店舗を含む約2,000戸のうち約400戸の会員数を擁する町会です。設立は、120年前に遡ります。



加入世帯数	約420世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線「新馬場」駅		
ホームページ SNS等	 櫻心会町会HP		

イベント実施のためのアイデア!

餅つき大会

町会員の交流と近隣住民との繋がりを図るため、新年行事として「餅つき大会」を開催しています。

昔は年末年始になると、多くの家で餅つきがされていましたが、近年では、餅つきをする機会も減っていることもあり、木臼と杵を初めてみる子どもたちもいます。

日本の風物詩の一つとして、今後も残したい事業として、毎年餅つき大会を開催していますが、開始時間前から、会場の前には子どもたちが楽しみに列をなす姿が印象的です。

経緯

- ・地域の人々との交流を深めるため、伝統行事を町会員の方に体験してもらいたいから。

事前に準備したこと

- ・テントの設営
- ・餅つき器具の準備
- ・もち米の調達（町会内のお店と調整）
- ・周知用チラシ作成 など

効果

- ・新しく町会員になられた方との交流ができた
- ・町会活動の周知ができた

呼びかけの方法

- ・チラシの配布
- ・町会回覧版への掲示



活動のポイント

- ・温故知新
- ・子どもたちの思い出づくり、親子で楽しめる年始行事として、続けていきたい行事のひとつです。

小関親睦会

永年にわたり準工業地帯として栄えて来たまちも昭和53年頃から、マンションが建ち始め、今では住民の9割以上はマンションの住民。主な町会行事は3月の清水稲荷例祭、防犯パトロール、町内清掃、6月の品川神社例大祭、10月の町内家族会、12月のもちつき大会、歳末警戒等を実施し、古き良き伝統を守り町内の親睦を図って行きたいと思えます。



加入世帯数

約3,000世帯

地域センター

品川第一地域センター

最寄り駅

JR山手線「大崎」駅

ホームページ
SNS等

小関親睦会HP

イベント実施のためのアイデア!

ファミリーレクリエーション活動

1年に1回(秋の10月頃)町内にある公園で屋台を各マンションが担当して材料費相当の価格で開催します。子供たちが喜ぶような食べ物やゲームを行っています。屋台は、焼きそば、ポップコーン、フランクなど、ゲームは、射的、ビンゴなどを行っています。開催の年により出し物を変えて取り組んでいます。

経緯

当町会は、マンションの住居者がほとんどでコミュニケーションがとりづらいことがあり、みんなで1日楽しんで顔見知りになってもらいたい!という思いから始まりました。

今では、子どもを中心に約400~500名の方が参加してくれています。

事前に準備したこと

- ・ 行事開催チラシ作成 など



効果

行事にお子さんを連れて参加していただくことで、その親御さん、祖父母の方が知り合いになることで、地域のコミュニケーションが図れています。

呼びかけの方法

行事開催チラシを作成し、町会掲示板、各マンション掲示板等に掲示、御殿山小学校の学校地域コーディネーターさんを通じて、子どもとその保護者の方への呼びかけをしています。また、老人クラブの活動の際にも、チラシを活用しています。

活動のポイント

地域のコミュニケーションがはかれることで、災害時の避難等がスムーズに行えるのと、日ごろの防犯活動、交通安全の声掛けなどがうまくいくようになることを目指しています。

品川尚和会

品川尚和会は昭和25年4月（1950年）に和を第一に考え名称を品川尚和会としてスタートした町内会です。会員の積極的な参加、協力により色々なイベントを楽しんでいます。



加入世帯数	約710世帯	地域センター	大崎第二地域センター
最寄り駅	JR山手線「大崎」駅		
ホームページ SNS等	 品川尚和会HP		

イベント実施のためのアイデア！

尚和会こども 花火大会

毎年小学校の夏休み開始に合わせて小学校校庭で花火大会を行っています。本年度は他町会の協力も得て規模を拡大し行いました。現在花火の体験が少なくなった子供達により機会を与え楽しんでもらっています。

経緯

昭和33年に大崎中で花火大会を行ったという記録がありその後夏休み開始時に三木小学校校庭で親子でカレーを作りカレーを食べた後花火を行うことを恒例行事として行ってきました。しかしながら親子でのカレー作りが負担になるとのことから花火のみ行うことになりました。

事前に準備したこと

今回から対象者を品川尚和会だけでなく三木小学校生徒なら誰でも参加可能としたことから三木小PTAとの打ち合わせ他町会との打ち合わせを行いました。消防署への届、近隣住民の周知、購入予定花火の見積、打ち上げ手順、受付方法、受付準備品など準備しました。

効果

結果609名参加という予想以上の参加者があり盛況に実施できました。子供達の花火体験も盛況で普段実施できない花火を体験することができ満足していました。

呼びかけの方法

回覧板、掲示板、ホームページ、小学校PTAでの広報などで集客を行いました。



活動のポイント

花火を行うので安全には十分注意するよう子供だけの参加はやめて必ず保護者同伴で子供の安全を見守るようにしました。予想以上の参加者だったため受付に時間を要した。次回開催時は受付を簡素化する予定です。

二葉三丁目町会

JR西大井駅そばにある町会です。秋の例大祭、日帰りバス旅行などの事業のほか、歳末パトロールなどを実施しています。「子どもの日」には神輿の巡行を行なっています。安心安全で活気ある町づくりに取り組んでいます。



加入世帯数	約820世帯	地域センター	荇原第五地域センター
最寄り駅	JR横須賀線、湘南新宿ライン「西大井」駅		
ホームページ SNS等	—		

イベント実施のためのアイデア!

二葉三丁目町会 総合防災訓練

平成24年に第1回を実施して以来、毎年実施されています。要支援者に対する組織的な避難行動支援のほか、スタンドパイプ操作や不審者通報など、消防、警察と連携した実践的な訓練を行なっています。「自守防災」を合言葉に町会が一丸となって取り組んでいます。

経緯

二葉三丁目町会総合防災訓練は上村和雄会長の発案で平成24年から始まり、今年度（令和26年度）で13回目を迎えました。町内の助け合いを推進するため実際の状況に即した体験をすることを主眼に始まったこの訓練は13回目の今年も変わらないテーマになっています。玄関先に結んだりボンで健在を知らせる安否確認訓練は当初から続けられています。

避難行動要支援者に対しては、「安心助け合いカード」を作成、複数の支援者を定めて日ごろから見守り活動を行うなど、相手方との関係性を築きました。こうした要支援者に対する組織的な支援体制を構築したことを評価され、平成27年には東京都の「防災隣組」認定団体に選定されました。

新型コロナが日本中を席卷した3年間も訓練は続け

られました。規模を縮小しつつも、町会のシンボルカラーである「紫リボン」安否確認や要支援者避難行動支援などの必要な訓練を実施しました。

令和6年度は、おなじみの「紫リボン」安否確認のほか、子どもたちを対象にした水消火器操作訓練を行いました。また、消防署の指導によるスタンドパイプ放水体験やAED操作、警察と共同で不審者通報・身柄確保の訓練も実施しました。



効果

「継続は力なり」の言葉とおり、13年続けてきたことで着実に効果が表れています。地域の防災意識が高まったこと、公助の意識が浸透して要支援者に安心感が育まれたことなどです。

活動のポイント

避難行動要支援者やひとり暮らし高齢者に対する安否確認体制を構築し、町会として組織的に対応していること、消防や警察などの関係機関と連携して、実践的な訓練を行っていることが特徴です。

潮路東ハイツ自治会

八潮団地51号棟～57号棟の7棟で構成される自治会。527世帯のうち自治会加入率は90%を超えます。趣向を凝らしたイベントを実施し、その様子をYouTubeチャンネルで配信するなど精力的な活動を行っています。



加入世帯数	約480世帯	地域センター	八潮地域センター
最寄り駅	東京モノレール「大井競馬場」駅		
ホームページ SNS等	 ユーチューブQRコード		

イベント実施のためのアイデア!

光と音で贈る クリスマス イベント

自分たちのマンションをスクリーンにして、花火やメッセージを投影するプロジェクションマッピングをメインとするクリスマスイベント。ホットワインやココア、ソーセージ等の飲食ブース、プレゼント抽選会など子供も大人も楽しめるよう内容の充実を目指しました。

経緯

コロナの終息後も地域のイベント等が見送りとなっていた夏。夏祭りで見れなかった子供たちに何とか花火を見せられないかと考えていたところ、会長がたまたま見たテレビでプロジェクションマッピングを使って花火を投影する様子が映り、これを自分たちでも出来ないかと自治会の会議で提案。プロジェクションマッピングを中心としたクリスマスイベントの実施に向け、手探りで企画を進めることとなりました。

事前に準備したこと

自治会員のついでで紹介してもらった映像業者と打合せを行い、地域貢献の一環として破格で協力してもらえらることとなりました。また、住民への細やかな事前説明、必要な範囲の樹木剪定、出店の試食会、

区の補助金申請などの工程を自治会で分担しながら行いました。

効果

- ・イベント前よりも会議が活発になり、多様な意見が出るようになった。
- ・これまで自治会活動に参加しなかった人が自分から手伝いを申し出てくれるようになった。
- ・反対意見もあったが、イベント後に住民アンケート・結果公表を行ったところ、好意的な意見が多数を占め、翌年のイベントでは苦情はなくなった。

呼びかけの方法

敷地内にイベント周知用の立て看板を設置、自治会広報誌への掲載、役員・協力者を中心とした声かけを行っています。

活動のポイント

従来のイベントに新しい視点を加えて、多世代が楽しめる企画を目指しています。協力してくれる人を一本釣りではなく個別にお誘いし綿密にコミュニケーションを取ることを心がけています。

ハツ山町会

品川区北東に位置する町会であり、北東の角地は鬼門とされているため、稲荷社がまつられており、町会で管理しています。オフィスと一般町会員が混在する町会で、一般町会員は19軒しかありませんので、マンションとの協力で行事などを行っています。



加入世帯数	約620世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線「北品川」駅		
ホームページ SNS等	 インスタグラムQRコード		

他団体との連携・協働のためのアイデア!

マンション 合同防災 訓練

町会内にあるマンション1か所と合同で防災訓練を実施しています。合同で行うことで、町会とマンション住民とのつながりが生まれるほか、町会での備蓄やマンションでの備蓄・対応について、相互に学ぶ機会を設定しています。

経緯

一般町会員が少ないため、マンションと合同で防災訓練を実施することになりました。

マンション住民同士の関係が希薄なため、合同ですることになり、大規模な訓練になり、防災意識が高まります。

事前に準備したこと

- ・消防署との調整
- ・周知用チラシの作成
- ・啓発品の準備

効果

- ・マンションと町会とのつながりがうまれる
- ・マンション、町会それぞれの備蓄や対応について、相互に確認ができる

呼びかけの方法

- ・チラシの配布



活動のポイント

一般町会員とマンション住民が顔見知りになり、災害時の協力体制が構築できます。

大井第一地区管内 各町会・自治会

品川区の13地区のなかで最大の人口を誇り、21の町会・自治会がそれぞれ活発に活動するとともに、町会連合会としてもさくらまつり、区民まつり、大運動会など、大規模なイベントを行っています。



加入世帯数	約22,130世帯	地域センター	大井第一地域センター
最寄り駅	—		
ホームページ SNS等	 北浜川仲町会	 北浜川西町会	 大井関ヶ原町会

しながわ 花海道

他団体との連携・協働のためのアイデア!

NPO法人しながわ花海道の統括の下、町会・自治会のほか、企業、個人が会員となり、割り当てられた花壇の維持管理・通路の清掃などをし、勝島運河沿いが地域住民の憩いの場、観光スポットとなるよう、地域一丸となって環境美化に努めています。

経緯

立会川、鮫洲両商店街の有志が中心となって始めた「しながわ花海道プロジェクト」を維持発展させていくために、NPO法人しながわ花海道を設立し、地域が一体となって勝島運河護岸の環境美化を推進することとなりました。

事前に準備したこと

NPO法人しながわ花海道の設立にあたり、地元町会・自治会が会員として参加、全町会長・自治会長が理事に就任、初代理事長には大井第一町会連合会会長（当時）、二代目の現理事長には同副会長が就任しました。

効果

地域住民の憩いの場として、住民同士の交流に寄与しているほか、四季



折々の花壇の様子が、民放各社のテレビ中継や新聞報道でも紹介され、区内屈指の観光スポットとなっています。

呼びかけの方法

季節ごとの植え替え・苗植えなどは、NPO法人しながわ花海道が日程調整したうえで、町会・自治会を含む会員団体・個人に呼びかけ、会員が一斉に作業を行っています。

活動のポイント

地元町会、商店街、企業、個人有志など、様々なメンバーがNPO法人しながわ花海道の調整により連携し、春夏秋冬それぞれの季節において、地域住民の憩いの場、観光スポットとしての景観を維持しています。

大井一丁目権現町会

当町会は昭和34年に設立されました。この地域は大井蔵王権現神社が鎮座され、隣接の町会と大切にお守りしています。春の例大祭など、多くの行事を行っています。



加入世帯数	約320世帯	地域センター	大井第二地域センター
最寄り駅	JR京浜東北線・りんかい線・東急大井町線「大井町」駅		
ホームページ SNS等	—		

他団体との連携・協働のためのアイデア!

盆舞 -BONDO-

地域の方や地域を越えた人との繋がりを大切に、イベントを通して地域の活性化や地域間交流を深めることを目的とし、地域文化の交流を楽しむイベントとしています。

経緯

地域コミュニティの希薄や地域文化の継承など、先細りしていく町会活動を後押しするため、多世代間で楽しむ文化交流として盆踊りを企画しました。

事前に準備したこと

地域の『繋がり』を大切にするために、大井町駅周辺で活動しているNPO団体や飲食店を始め、個人で活動されている方に対し、説明を行いました。

効果

「盆踊りは人の心を熱くする」と思っていたとおり、5,000人ほどの方が参加。

遊びに来られた他町会の方、近隣商店街の方から「うちでもやりたい。」との声がありました。

呼びかけの方法

近隣小学校にポスター3,000枚を配布するとともに、出店者および協力者のご協力をいただき、SNS発信・拡散に注力しました。



活動のポイント

踊って、歌って、楽しく人の繋がりを大切に、安全・安心な地域づくりを目指します。

戸越一丁目町会・戸越二丁目町会・
戸越三丁目町会・戸越四丁目町会・
戸越五丁目町会・戸越銀座町会

戸越地区の地域団体、戸越一丁目町会、戸越二丁目町会、戸越三丁目町会、戸越四丁目町会、戸越五丁目町会、戸越銀座町会、宮前小学校、宮前小学校PTA、宮前商店街、戸越公園周辺街づくり協議会、83運動推進委員会、日本生命アロマスクエア営業部、NPO「晴盆」、「ノラマチ」などが、連携してまちを盛り上げています。



加入世帯数	約8,540世帯	地域センター	荏原第三地域センター
最寄り駅	東急池上線・東急大井町線「戸越公園」駅、都営浅草線「戸越」駅		
ホームページ SNS等	 戸越二丁目町会HP	 戸越四丁目町会HP	 戸越五丁目町会HP

他団体との連携・協働のためのアイデア!

戸越の賑
わい創出
と連携強
化

さまざまな地域団体が連携し、単独団体では困難な大規模な夏祭りを実施しました。また、多くの住民の方が町会や、商店街に親近感をもってもらえることもめざしました。

経緯

会場周辺は、特定整備路線の整備が進む東急大井町線戸越公園駅付近に位置し、整備路線は隣接する商店街を縦断する計画ですが、整備と並行するように、かつての街の賑わいなくなり、地域団体は地域の力でこのエリアを活気づけたいと考えていました。

事前に準備したこと

約2か月前から連携する団体の話し合いが始まりました。イベントの目的を「戸越地区の賑わいの継続と近隣地域団体の協調性を深める」と明確にし、それぞれの団体が同じゴールに向かって連携できるようにしました。

また、区の助成金、NPOの参加等、最大限活用できるように区との事前の調整を綿密に行いました。

効果

目的を定めたことで、各団体の意識が高まりました。また、自主事業で低予算での事業実施は、各団体が得意とすることを持ち寄り、工夫を重ねることに繋がりました。結果として、近隣団体同士の連携が強まり、来場者は2,000名を超える大盛況で地域の活性化、賑わい創出も達成できました。

活動のポイント

各地域団体がブース運営を行い、盆踊りはNPO、警備は街づくり協議会、施設協力は小学校など、役割分担がしっかりしていたことで、各団体が自主的に自発的に事業を作り上げ、単独団体では不可能な大事業を成功させることができました。

旗の台三丁目町会・西中延三丁目町会

東急大井町線と池上線に囲まれた旗の台三丁目町会と、隣接する西中延三丁目町会は、祭礼や防災訓練、資源回収などに活発に取組み、安心して安全に暮らせる町を目指し活動しています。



加入世帯数	約630世帯、約800世帯	地域センター	荏原第四地域センター
最寄り駅	東急池上線「旗の台」駅、東急大井町線「荏原町」駅		
ホームページ SNS等	—		

他団体との連携・協働のためのアイデア!

サンサン
フェスタ

旗の台三丁目町会と西中延三丁目町会の共催による「サンサンフェスタ」。親子も高齢者も防災訓練や様々なゲームなどを心ゆくまで楽しめる一大イベントとして、令和6年3月24日（日）に旗の台広場公園で開催しました。開催にあたっては、旗の台三丁目商店会、荏原消防署、荏原消防団第七分団等の協力を得ました。

経緯

もともと旗の台三丁目町会が「ハタサンフェスタ」として単独で行っていた事業ですが、より多くの人に、防災の大切さを親子で実践しながら学んでもらうため、隣接する西中延三丁目町会と共催することとなりました。

事前に準備したこと

2町会を中心に、約4か月前から定期的に会議を重ねていきました。企画を練り、ポスターやアンケート用紙を作成し、必要な物品を調達しました。また、町会員に当日の協力を呼びかけてきた結果、各町会から

それぞれ30名を超えるイベント協力者が集まりました。

効果

当日は、多彩な催しに500人を超える参加者にぎわいました。防災への意識が高まるとともに、地域の活性化にもつながっています。

呼びかけの方法

地域の各小学校、保育園、幼稚園等にポスター掲示を依頼しました。また、旗台小学校と延山小学校のPTAに協力を得て広く周知を図りました。

活動のポイント

より多くの人に町会の存在や役割に関心を持ってもらうため、このイベントを開催しました。この地域に住んで良かったと思える町会活動を目指して行きたいです。

同友会町会

町内に大小の企業が存在する同友会町会では、地域ぐるみで協力し合える体制作りを目指しお祭りに代表される各種行事のほか防災訓練・防犯活動等に一人でも多くの住民および企業の方々に参加してもらえよう、開かれた町会をモットーに活動を続けています。



加入世帯数	約840世帯	地域センター	品川第二地域センター
最寄り駅	J R京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町」駅		
ホームページ SNS等	 フェイスブック QRコード		

デジタルとアナログの両立

デジタル活用のためのアイデア!

年間を通して、様々な行事を実施しておりますが、より多くの方に参加いただけるよう、申し込み方法にデジタル化を取り入れました。

経緯

これまでは、行事への参加申し込みは回覧にて、希望者が記入する方法でした。本当は参加したいのに個人情報を見られたくないなどの理由で参加を断念する方もいらっしゃいました。結果的に行事への参加者が減少してしまう傾向にありました。

そこで、回覧で記入する方法ではなく、QRコードを使って入力してもらう方法を取り入れました。

事前に準備したこと

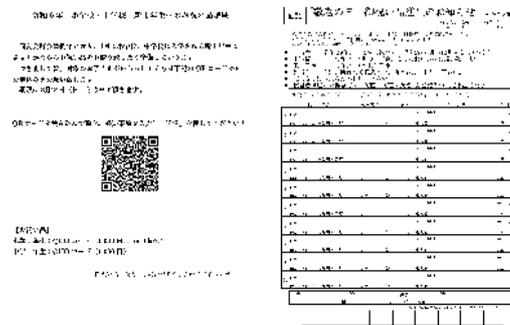
行事のお知らせ(チラシやポスター)を目立つようにデザインし、QRコードを作成、チラシに配置し入力していただいた情報を集約できるしくみを行事ごとに作成しました。

効果

若い方たちの参加が増え、初めて参加する方も増えてきました。ただし、お年寄りの方たちはQRコードを使うことが難しいようで、従来の記入による申し込みも継続しています。

呼びかけの方法

町会が行う行事を通じて、直接呼びかけをしています。



活動のポイント

昔からの方も、新しい方もより親しみやすい、参加しやすい町会にし、新しく町会に加入していただける方をさらに増やしていきたいと思ひます。

五反田中部町会

日野ノ荘の荘園代から様々な変遷を経て東京の交通の中心地として発展をしたこの地で、その中程に位置する我が町は有楽街と称される繁華街と、オフィス又マンションが混合し多様な顔を見せます。町会活動では古くからの人と新しく来られた方々との協力に加え、防犯カメラの充実等、安心して自由に都会の生活を満喫できるよう、各方面との連携を大切にしています。

協力町会：五反田東口町会・五反田一丁目町会

五反田エリアの身近な情報
東五反田コミュニティ・サークル
LINE公式アカウントはじめました！

五反田中部町会、五反田東口町会、五反田一丁目町会の3町会合同によるLINE公式アカウントでは、東五反田エリアにお住まいの方、又ご利用の方に地域限定の情報を月一、二回これから皆さんに発信します。

東五反田コミュニティ・サークルからのお知らせをLINE公式アカウントで発信します。まずは登録してみてください！

加入世帯数 約200世帯 地域センター 大崎第一地域センター

最寄り駅 JR山手線・都営浅草線・東急池上線「五反田」駅

ホームページ
SNS等



LINE QRコード

LINE公式アカウントの開始

デジタル活用のためのアイデア！

LINE公式アカウント「東五反田コミュニティ・サークル」は、五反田中部町会、五反田東口町会、五反田一丁目町会の3町会による公式アカウントで、東五反田エリアのいろいろな情報を発信します。

経緯

令和5年度、品川区の伴走型支援プログラムの活用で何か出来ないか検討。町会活動に関心なマンション等の玄関などに町会をアピールするLINEのチラシ（QRコード付き）を掲示して、軽い気持ちで町会のお知らせにアクセスして頂く仕掛けを構築しました。

事前に準備したこと

ホームページの作成等で失敗した例を洗い出し、継続的に見ていただけるコンテンツを検討しました。一つの町会ではコンテンツに限りがあるので、五反田東口町会、五反田一丁目町会とも協力し、各町会内の飲食店など様々なお店の紹介等も入れることで情報を準備しました。

また、LINEでの発信はメッセージの通数に応じて課金されるので、負担・分担を考慮するようにしました。

効果

品川区民まつりの開催に合わせて発信を開始しました。また、地元神社の祭礼等で、LINEを見てお祭りに来た方もいらっしゃいました。興味のあるコンテンツの配信を続けることで、LINEの登録者や町会加入者、参加する他の町会が増えることを期待しています。

呼びかけの方法

LINEのチラシ（QRコード付き）を掲示板などの目立つ所に張りました。今後、マンションや店舗などでも掲示し、登録者には定期的に地域の情報をお届けします。

活動のポイント

一般的に興味のある情報の中に、町会の存在を意識出来るイベントや、ボランティアの情報に触れて頂くことで、最終的には町会に参加していただく方が増えることを期待しています。

荇原二丁目町会

「住みよい街になる様に」を主旨として、より多くの町会会員が参加し、且つ運営の協力をしていただけるよう町会役員が創意工夫しています。
ひいては災害時等の有事に町会会員が協力して助け合う“共助”の醸成に繋がることを目指しています。



加入世帯数	約570世帯	地域センター	荇原第一地域センター
最寄り駅	東急池上線「戸越銀座」駅		
ホームページ SNS等	 LINE QRコード		

デジタル活用のためのアイデア!

町会公式LINE で子育て世代 へ周知

近隣の荇原4丁目町会が、公式LINEで町会行事を発信しているのをヒントに【荇原2丁目町会会員&Free参加者】の公式LINEを立ち上げました。町会行事への参加とお手伝い募集を“QRコード”を用いて20代後半～40代の子育て世代向けに周知しました。

経緯

毎年定例の町会行事について、役員の高齢化と町会会員の参加の減少もあり運営が厳しくなっていました。行事への参加者・お手伝い募集は掲示板と回覧板頼りで限界を感じていました。

事前に準備したこと

有志役員で【荇原2丁目町会会員&Free参加者】の公式LINEを立ち上げてQRコードを作成して、町会行事への参加とお手伝い募集をすることとしました。

7月の荇原第一地区区民まつりのかき氷売場にて、公式LINEのQRコードで登録して頂いた方に、特典として無料でトッピングをすることを企画しました。

効果

区民まつりではとても好評で、町会会員のご家族に限らず、無料トッピングを目当てに64人の方々に公式LINEのQRコードから登録して頂きました。森澤区長も、当日お越し頂き高評価してくださり、Xに上げて頂きました。区民まつり後に町会行事をアップしましたが、47人が公式LINEの登録が継続しています。また、1家族が9月の祭礼に来てくださり、お子様のお祭り参加と親御さんにお手伝いをして頂けるという実績が出来ました。今後実施する町会行事へも呼びかけを行い、更なる「友達登録者」の増加を目指しています。

活動のポイント

20代後半～40代のSNSを利用しているであろう子育て世代向けに、町会行事への参加とお手伝いの同時募集を兼ねてQRコードを作成してLINEの友達登録をして頂くことです。

旗の台西二丁目町会

東急旗の台駅の北西に隣接した住宅地であり、通勤・通学に便利なことから、1970年台より高層マンションの建設が始まり、2000年以降は5階建ての中層マンション、若年層向けワンルームマンションが進出。一方で戸建て住宅は全部で60棟と減少しました。町会費の80%は集合住宅が負担していますが、多くは賃貸住宅のため、町会との接点がない状態が続いていました。



加入世帯数

約420世帯

地域センター

荏原第二地域センター

最寄り駅

東急池上線「旗の台」駅

ホームページ
SNS等

LINEオープンチャットQRコード
※地域の方はぜひアクセスください。

活動参加促進のためのアイデア!

親子で学ぼう 防災講座

消防署からの講話により、災害の種類と町会エリアで想定される被害を認識し、また、コンサルタントからは自宅での備え、具体的な対策として、防災グッズの展示や備えておきたい防災アプリやウェブについて紹介をいただきました。

経緯

戸建て住宅の住民は高齢化（70歳台後半から80歳以上）しており、町会活動を担っていくのは難しくなっています。町会と集合住宅住民との交流を強化して、次の担い手を育てる必要があります。それには共通のテーマである地域の防災が最適です。そこで、地域の防災力の向上を目的として、体力・知力・行動力のある子育て世代の防災意識を高めるべく、子育て世代をターゲットとした「親子で学ぼう 防災講座」を啓発活動として開催しました。

事前に準備したこと

荏原消防署旗の台出張所の方との事前打ち合わせでは、当町会付近の想定被害や災害

時の避難方法など、「自分事」として捉えられるような内容を準備してもらいました。

コンサルタントによる講話では、具体的な備えや対策を説明してもらうよう、携帯トイレや衛生用品、非常食等、準備しておくべきグッズを用意し、展示しました。

効果

アンケートでは参加者全員から「防災意識に変化があった」と回答。また「災害時のイメージが沸いた」という声もあり、学びや気づきにつながりました。

呼びかけの方法

町会会報

活動のポイント

「このままでは町会の担い手がなくなる」という危機意識から、町会は予算的には苦しいながらマンションの一室を借り町会会館としました。ここで様々なイベントを展開して、新しい人脈を開拓して、次世代を育成したいと思います。今回の企画もその一環です。

北品川二丁目町会

旧東海道品川宿の本宿にある町会です。
品川宿の伝統と文化を保持しながら新しい試みを取り入れ、品川神社祭礼の神輿・山車の渡御、宿場まつりの花魁道中、北二大山講の大山参り、夏の盆踊りなどの風物詩、ラジオ体操、リサイクル活動などさまざまな活動を行っています。



加入世帯数	約 1, 5 1 0 世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線「新馬場」駅		
ホームページ SNS等	—		

リサイクル実施におけるアイデア!

北二町会 リサイクル

ごみとして出すのではなく、分別してリサイクルする意識を持ってもらう様に働きかけました。

現在では、段ボール等のシールをはがして出すことや牛乳パックを洗って出すなど、町会内にもリサイクルの意識が芽生えているのを感じています。

経緯

平成7年よりリサイクル資源の回収作業を町会有志で活動をスタート。古いリヤカーを利用して、裏路地を回り、回収し、アルミ缶は清掃事務所より借用した缶潰し機でペチャンコにしていました。

事前に準備したこと

軍手、ヒモ等

町会掲示板へ貼る告知チラシの用意

効果

ごみとして出していたものを、リサイクル品として回収場所へ出すようになった町会員が増加しました。

呼びかけの方法

- ・町会の常任委員会での呼びかけ
- ・町会掲示板での周知



活動のポイント

ごみをきちんと分別してリサイクル活動にご協力いただいています。
アルミ缶、新聞紙、段ボールなどを回収場所へ出してもらう様に呼びかけを行いました。

西大井二丁目町会

西大井二丁目町会は、総務・防犯・衛生・交通・防災
防火・青少年・文化・婦人の各部で構成され、年間計画
を立て活動しています。



加入世帯数	約 840 世帯	地域センター	大井第三地域センター
最寄り駅	JR横須賀線、湘南新宿ライン「西大井」駅		
ホームページ SNS等	—		

見守り活動実施におけるアイデア!

町会内「見守り活動」

高齢者や気になるお宅をまわる「見守り訪問」を防犯パトロール、民生委員、警察署と連携して行い、町の安全・安心に取り組み、住みよい町を目指しています。

経緯

民生委員から見守り活動を町会と一緒にやりたいと要望が出て、それならと警察、消防に声をかけ、10年ほど前から始め、現在も継続中。現在は、民生委員、町会、警察で行っています。

事前に準備したこと

見守りが必要な人の選定、西大井二丁目全域、20~23件ほど、月1回実施しています。

効果

月に1回地道に活動してきたので、今では高齢者だけでなく子どもの見守りの情報が、自然と入るようになってきて、活動の認知度を感じています。

呼びかけの方法

見守りが必要な家に訪問しています。コロナ禍は、電話で高齢者の予防接種予約などの代行をしました。



活動のポイント

「町会員は家族だ」という気持ちで行っています。訪問すると、訪問先の高齢者の安心感が伝わるので、今後とも続けていきたいと考えています。一軒家がマンションに建て替わり、町会のかかわりにくさを感じていることが今後の課題です。



「町会・自治会活動事例集」
令和7年2月発行
品川区地域振興部地域活動課
東京都品川区広町2-1-36
TEL：03-5742-6648（直通）
FAX：03-5742-6877
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>